

令和5年10月期専用

一陸特

工学

(暗記問題)



専用ノートの概要

- ・ 過去問を直近15期分収録
(平成30年6月期～令和5年6月期)
- ・ 直近1期と2期の問題は「おまけ」に収録
- ・ 効率的に勉強できるように同じパターンの問題を除いて収録
- ・ 同じパターンの問題がある場合は、【過去の出題例】欄に掲載
- ・ 一部、参考書や問題集の解説箇所を【解説のある本】欄に掲載

専用ノートの使い方

- ・ 勉強した内容を余白に書き込んで、
自分だけのオリジナルノートを作しましょう。
- ・ 「おまけ」以外を勉強することで直近1期、2期と同じパターンの問題を省略できます。



免責事項

この電子書籍の著作権は当サイト（ムセンボーヤ!!）管理人に帰属し、日本の著作権法および国際条約等により保護されています。

掲載している問題および解答の著作権は日本無線協会にあります。

なお、この電子書籍に販売に関して日本無線協会に届け出ております。

著作権法で認められた場合を除き、著作権者の許可なくこの電子書籍の全部又は一部を譲渡、転載、販売、その他二次利用する行為を禁じます。

これに違反する行為を行った場合には、関係法令に基づき、民事、刑事を問わず法的責任を負うことがあります。

また、この電子書籍に含まれる情報について、できる限り正確な情報を提供するように努めておりますが、正確性や安全性を保証するものではありません。

この電子書籍の内容によって生じた損害等の一切の責任を負わないものとします。

この電子書籍の使用にあたっては、以上に同意いただいた上ご自身の責任のもとでご活用いただきますようお願い申し上げます。

書籍情報

タイトル：一陸特 無線工学 （暗記問題）

発行日：令和5年8月

著者名：くるぼう

サイト名：ムセンボーヤ!!

サイトURL：<https://musenboya.com/>

連絡先：上記サイトに設置のお問い合わせフォームよりお願いします。

定価：300円



	R5.6B	R5.6A	R5.2B	R5.2A	R4.10B	R4.10A	R4.6B	R4.6A	R4.2B	R4.2A	R3.10B	R3.10A	R3.6B	R3.6A	R3.2.B
1	暗	暗	暗	暗	暗	暗	暗	暗	暗	暗	暗	暗	暗	暗	暗
2	SAMPLE														
3															
4															
5															
6															
7															
8															
9															
10															
11															
12															
13															
14															
15															
16															
17															
18															
19															
20															
21															
22															
23															
24															

【特徴】

各試験回と問題番号との対応表

過去15期分に対応

1期前、2期前の問題のマス目をグレーで色分け

各マス目に自由に記入してください

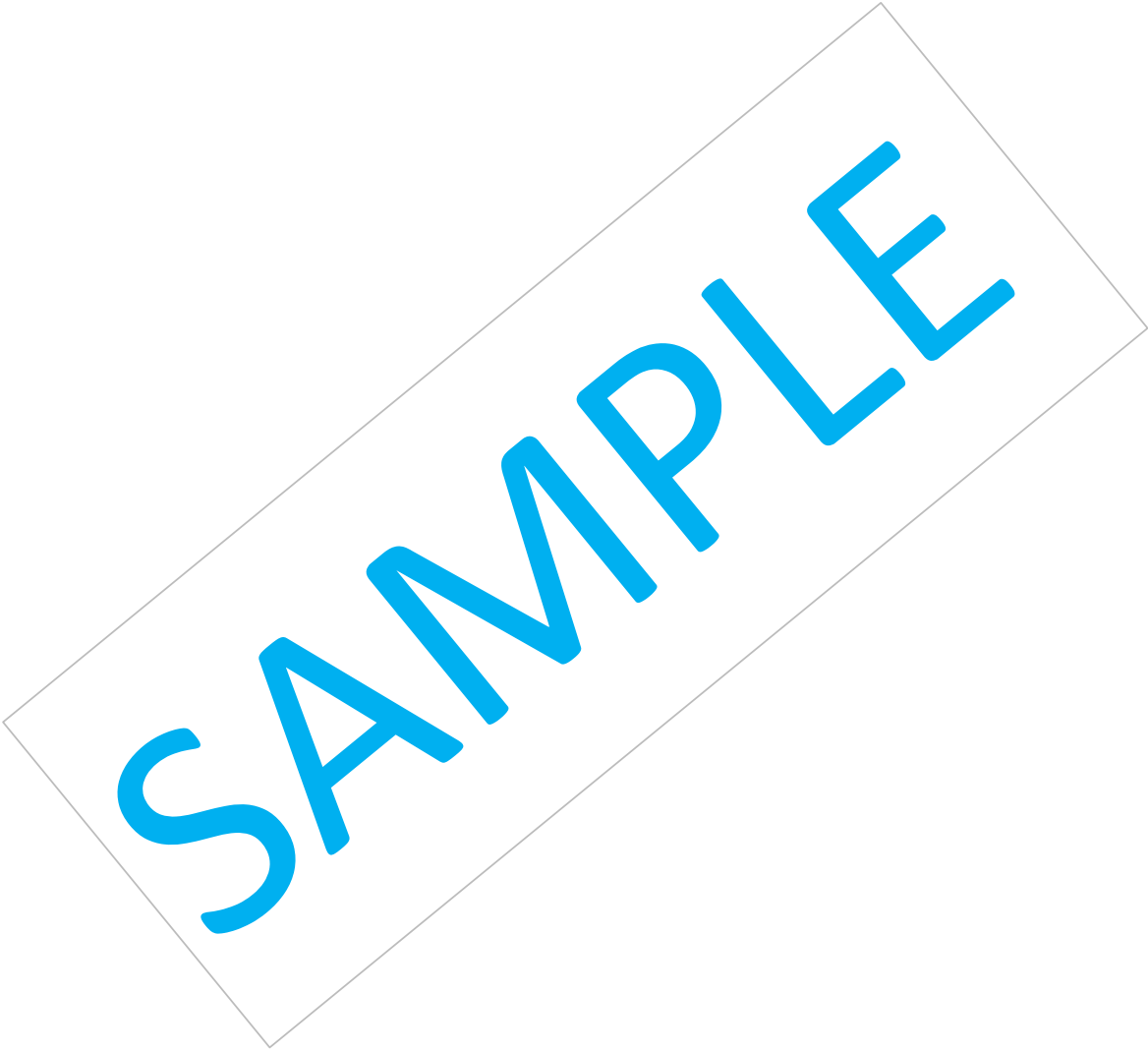
(勉強した日付、理解度、間違えたチェック等)

目次

問題	ページ	問題	ページ	問題	ページ
令和4年10月期午後[01]	9	令和4年6月期午後[10]	27	令和4年2月期午前[09]	45
令和4年10月期午後[02]	9	令和4年6月期午後[11]	27	令和4年2月期午前[11]	45

SAMPLE

問題（2期前）	ページ	問題（1期前）	ページ		
令和5年2月期午後[01]	90	令和5年6月期午後[01]	108		





令和4年10月期午後[01]

過去の出題例	令和元年10月期午後[1]	平成30年6月期午後[2]	平成29年2月期午後[1]
	平成28年6月期午後[2]	平成27年6月期午前[2]	平成23年6月期午後[2]
解説のある本	一発合格 p25		

〔1〕 次の記述は、対地静止衛星を利用する通信について述べたものである。このうち誤っているものを下の番号から選べ。

- 1 衛星通信では、一般に送信地球局から衛星へのアップリンク用の周波数と衛星から受信地球局へのダウンリンク用の周波数が対で用いられる。
- 2 衛星通信に 10〔GHz〕以上の電波を使用する場合は、大気圏の降雨による減衰を受けやすい。
- 3 VSAT 制御地球局には大口径のカセグレンアンテナを、VSAT 地球局には小型のオフセットパラボラアンテナを用いることが多い。
- 4 電波が、地球上から通信衛星を経由して再び地球上に戻ってくるのに約 0.1 秒を要する。
- 5 3 個の通信衛星を赤道上空に等間隔に配置することにより、極地域を除く地球上のほとんどの地域をカバーする通信網が構成できる。

令和4年10月期午後[02]

過去の出題例	令和3年2月期午後[2]	平成30年10月期午後[2]	平成29年10月期午後[2]
解説のある本			

〔2〕 次の記述は、マイクロ波(SHF)帯の電波による通信の一般的な特徴等について述べたものである。このうち誤っているものを下の番号から選べ。

- 1 空電雑音及び都市雑音の影響が小さく、良好な信号対雑音比(S/N)の通信回線を構成することができる。
- 2 超短波(VHF)帯の電波に比較して、地形、建造物及び降雨の影響が少ない。
- 3 アンテナの指向性を鋭くできるので、他の無線回線との混信を避けることが比較的容易である。
- 4 周波数が高くなるほど、アンテナを小型化できる。



令和4年10月期午後[05]

過去の出題例			
解説のある本			
【5】 次の記述は、半導体素子の一般的な働き又は用途について述べたものである。□内に入れるべき字句の正しい組合せを下の番号から選べ。 (1) バラクタダイオードは、□Aとして用いられる。 (2) ツェナーダイオードは、主に□B電圧を加えたときの定電圧特性を利用する。 (3) トンネルダイオードは、その□Cの電圧-電流特性にトンネル効果による負性抵抗特性を持っており、応答特性が速いことを利用して、マイクロ波からミリ波帯の発振に用いることができる。 A B C 1 可変静電容量素子 2 可変静電容量素子 3 可変抵抗素子 4 可変抵抗素子 5 可変抵抗素子 順方向 逆方向 順方向 逆方向 順方向 逆方向			

令和4年10月期午後[06]

過去の出題例	令和2年2月期午後[6]	平成29年6月期午後[6]	平成28年6月期午後[6]
	平成27年2月期午後[7]	平成26年2月期午後[19]	平成26年2月期午前[19]
解説のある本	一発合格 p52		
【6】 次の記述は、図に示すサーキュレータの原理、動作などについて述べたものである。このうち誤っているものを下の番号から選べ。 1 端子①からの入力端子②へ出力され、端子②からの入力端子③へ出力される。 2 端子①へ接続したアンテナを送受信に共用するには、原理的に端子②に受信機を、端子③に送信機を接続すればよい。 3 フェライトを用いたサーキュレータでは、これに静電界を加えて動作させる。 4 3個の入出力端子の間には互に可逆性がない。			